

# 諮 問 書

「歩くまち・京都」総合交通戦略審議会会長様

京都市では、平成22年1月に、「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定し、「既存公共交通」、「まちづくり」、「ライフスタイル」の3つの施策の柱の下、市民、事業者、行政が一体となり、オール京都で様々な取組を進めてきました。その結果、自動車分担率の低下や公共交通利用者数の増加など、クルマ中心から「歩く」ことを中心としたまちと暮らしへの転換が進み、「人が主役の魅力あるまちづくり」が着実に進展しています。

今、戦略策定から10年が経過し、人口減少・少子化、長寿化の進行をはじめとする数々の社会課題が顕在化しています。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、移動時の混雑回避意識の高まりやテレワークの普及などにより、公共交通の利用が激減し、市民の生活の足として、また、社会経済活動に不可欠な動線として重要な役割を担う公共交通が、危機的な状況に直面しています。その一方で、自動運転技術など、まちの課題の解決に資する可能性のある新たな技術が、日進月歩の発展を見せています。

絶えず変わり続ける社会経済情勢に柔軟に対応し、新たな潮流をとらえ、京都ならではの「人と公共交通優先の『歩いて楽しいまちづくり』」を一層推し進めていくため、今般のライフスタイル・ビジネススタイルの変化も踏まえた持続可能な公共交通ネットワークの在り方や利便性の向上はもちろんのこと、環境、都市計画、経済、健康づくりなど、幅広い観点から、総合交通戦略の今後の方向性やその実現に向けた施策などについて、貴審議会の御意見を賜りたく、ここに諮問いたします。

令和2年10月23日

京都市長 門川大 作